

# 酒田だより

2009.07.04~05



(写真前列左から) 晝間直未・岩下貴史・千田幸恵  
(中列左から) 晝間康明・鬼塚早希・齋澤悠  
(後列左から) 松原大樹・吉田夕妃・萩原早希・  
川上沙耶香・窪田有利子

今年もひるま矯正歯科では7月4日～5日の2日間、山形県酒田市内で行われたオーラルフィジシャンチームミーティングに、当院スタッフ12名で参加しました。今号はそのミーティングについて紹介します。

## オーラルフィジシャンチームミーティング

### ひるま矯正歯科・歯科医師 松原大樹

こんにちは、矯正歯科担当歯科医師の松原大樹です。今回のチームミーティングは講演の他に各医院がそれぞれのテーマを決めポスター発表をするといった形式が初めてとられました。ひるま矯正歯科でも「当院におけるMTM導入後の矯正治療患者のリスク変化」と題し発表を行うことができました。ポスター製作の過程でデータをまとめ、分

析をすることで私自身も興味深い結果や新たに気づくことなどがたくさんあり、勉強になりました。改めてデータを集め、それを比較し分析することが大切であると思いました。

当日の講演では、日吉歯科や他の歯科医院の現状や治療方針、新人教育などの具体的なお話、さらに医療経済やコミュニ

### 研究の目的

- ① 矯正治療を行うことによる蝕・歯周病リスクが減少するかどうか？
- ② 当院では2006年10月より矯正治療前には蝕・歯周病リスク検査、初期治療、矯正治療後のメインテナンスなどを行う治療の流れ(Medical Treatment Model)略してMTMを導入しました。その治療の流れが上手く機能し、本当に蝕・歯周病リスクを減少させているかどうか？  
これら2点を調べることを目的としました。

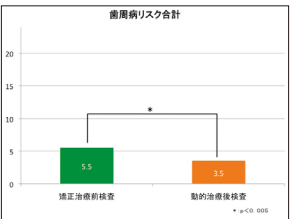
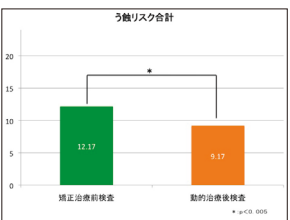
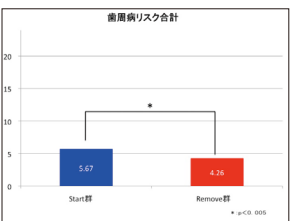
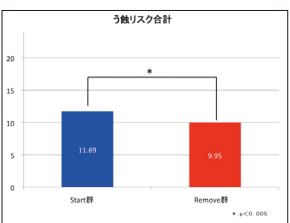
### 研究の方法

① 矯正治療前に検査を行った人と矯正治療後に検査を行った人の蝕・歯周病リスクスコア値を比較することで、矯正治療が蝕・歯周病予防に影響があるかどうかを調べました。

② 当院の現在の治療の流れで矯正治療前には蝕・歯周病リスク検査、初期治療を行い、その後矯正治療を行った人の矯正治療前後の蝕・歯周病リスク値を比較することで当院の現在の治療の流れによる蝕・歯周病予防との関連性を調べました。

### 結果

① 矯正治療前には蝕・歯周病リスク検査を行ったグループは行っていないグループと比べて蝕リスク合計スコア値、歯周病リスク合計スコア値は共に減少していました。



ケーションなどといった他分野の方のお話を聞くことができ大変刺激を受けました。  
そこで今回の「酒田だより」ではポスター発表の内容を皆さんに分かり易い言葉で書き直したものとスタッフによる感想を抜粋して紹介したいと思います。

### ポスター発表

#### 「当院におけるMTM導入後の矯正治療患者におけるリスク変化」



発表をしている松原大樹先生

② 当院で行っている治療の流れで矯正治療前後の検査を受けた人の結果は矯正治療のみの人と比べて、リスクが減少していることがわかりました。

### 考察

①の結果より矯正治療が蝕・歯周病リスクを減少させる可能性が示されました。減少した理由は、歯のデコボコにより歯磨きが難しかった所が矯正治療によって改善されたこと、ほぼ月に一度当院に来院し歯石の除去や機械による歯面清掃などのメインテナンスを矯正治療と並行して行ったことが考えられます。

②の結果より当院の現在の治療の流れで矯正治療を行った人の方が矯正治療のみを行った人と比べてよりリスクが減少していました。この結果から当院の現在の治療の流れの方が歯磨き指導、初期治療、患者教育などの効果が表れ、よりリスクの減少が大きくなったと考えられます。

以上①・②より、矯正治療を行う方の蝕・歯周病予防に対して、当院で現在行われている治療の流れを行うことは有効であると考えられます。今後はより多くのデータを蓄積・分析しその結果を患者さんに還元し、質の高い歯科医療を提供していくことが真の患者利益のために必要と考えました。